

議案審議

会期 3月1日～3月20日(20日間)

市長提出議案

- 予算案件 …………… 10件
- 条例案件 …………… 9件
- その他案件 …………… 2件
- 人事案件 …………… 2件

この定例会には、令和5年度各会計予算、令和4年度各会計補正予算、条例の制定・一部改正、人事案件など23議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・承認されました。

議案
第1号

令和5年度 旭市一般会計予算

電子自治体の推進

議会及び執行部会議のICT化を推進するため、タブレット端末及びペーパーレス会議システムを導入。

問 議会や市政において紙がなくなっていくとのことだが、タブレット端末とペーパーレス会議システムの導入予定は、

答 令和5年4月に公開型のプロポーザルの公告を行い、6月に契約、8月に操作研修を実施した後、9月議会から紙ベースの資料と併せて並行運用する予定。

ロケツーリズムの推進

映画やドラマなどの作品の舞台としてロケ地を招致するため、市のPR動画を作成し情報発信を行う。

問 ロケツーリズムの効果として、どのような成果指標を設定するのか。

答 映画やドラマなどのロケ誘致件数やメディアなどの登場回数、観光入り込み客数、移住相談件数、ふるさと納税寄附件数などが考えられる。

問 今後、経済効果額を算出して示す考えはあるか。

答 撮影場所の使用料金やロケ弁当の注文金額のように算出できるものもある。

るが、観光客などの集客に係るもの全てを把握することは難しく、ロケツーリズムによる効果と判断することも難しいため、経済効果額を示す考えはない。



防災行政無線を改修

現在運用している設備が更新時期を迎えることから、現在より受信エリアの広い電波方式に改めるほか、屋外スピーカーの改修や戸別受信機の更新を行い、情報伝達機能の向上を図る。更新工事は令和5年度から7年度までの3か年。

問 改修のスケジュールを伺う。

答 今回の更新では、現状よりサービスエリアの広い電波方式に切り替えるため、令和5年度は本庁舎にこの方式の親局を配置して、電波状況の調査を行う。令和6年度以降は屋外子局の工事と戸別受信機の配布を実施する。

出産後の母子サポート

産後ケア事業は、出産後に子育てのサポートが必要な母子に対し、病院、助産院において助産師が中心となって母親の身体的回復と心理的な安定を促し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援することを目的として実施。医療機関や助産院に宿泊する「宿泊型」に加え、今年度より「通所型」を開始。

問 今年度の利用予定数は。

答 妊娠届出時の面接から特に支援の必要な方が毎年50人程度いることから、約半数が利用できるよう宿泊型として18人、新規に開始する通所型として10人の予算を計上している。



ストップ少子化大作戦

喫緊の課題である少子化に歯止めをかけるため令和4年度から開始した取り組みで、結婚・出産・子育て・定住を一手のものとして捉え、分野横断的な切れ目のない支援を展開すべく、婚活支援事業や英語教育の強化、移住支援制度の充実など、9つの事業を実施。

問 ストップ少子化大作戦9事業の全体予算額は。また予算総額に対する構成比は。

答 ストップ少子化大作戦の各事業に係る全体予算額は5944万6千円。予算総額に対する構成比は約0・2%。

問 ストップ少子化という目標に対しての評価は。

答 目標としては、合計特殊出生率や出生数の増があるが、このストップ少子化大作戦は令和4年度から始まった事業であり、なかなかすぐ答えが出るものではないので、引き続き結婚から定住まで分野横断的な切れ目のない支援を続けていく。

日本一身近な海づくり

海岸を地域振興のツールと位置づけ、1年を通して楽しめるようなイベントを開催し、市内外を問わない交流を通じた移住、定住を目指すことを目的に、今年度は海岸を活用したイベント「ぼるぼる」や、ビーチクリーン、ビーチヨガ・ダンスなどを開催。

- ### ストップ少子化大作戦 事業一覧
- ①生涯学習×婚活事業
 - ②転入者農業チャレンジ支援事業
 - ③子育て“ほっと”スポットおひさまっこ
 - ④SNSによる情報提供
 - ⑤学校・地域いきいきライフプラン推進事業
 - ⑥日本一身近な海づくり推進事業
 - ⑦英語教育パワーアッププロジェクト
 - ⑧若者世帯住宅整備支援金
 - ⑨移住定住特設サイト・相談窓口設置



飯岡海岸で行われた「ぼるぼる」のビーチダンス

問 この事業の参加者をもっと増やすための周知方法は。

答 広報やホームページ、SNS発信、小・中学校へのチラシの配布のほか、メディアに取り上げてもらえるよう、プレスリリースを行う。

学校再編

少子化により児童生徒数が減少している中で、将来を担う子どもたちにとって公平で充実したより良い教育環境を確保するため、適正規模、適正配置による学校施設の再編を進める。

問 令和5年度の事業目標と事業内容は。

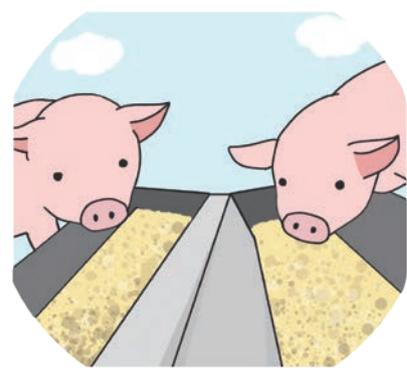
答 各小・中学校の保護者をはじめ、地域の方へ学校再編基本方針の内容を説明し、意見を伺うことを目標としている。干潟地域は地域説明会を実施したため、地域検討会を設置し、会議を開催する。その他の地域は、保護者説明会及び保護者アンケートを実施後、地域説明会を開催する。

畜産の臭気対策

家畜排せつ物の消臭軽減効果のある飼料等への添加剤や臭気の拡散を防ぐ効果のある資材の導入を支援し、畜産経営の継続、安定を図りながら、農場周辺環境の向上に寄与する。

問 これまでの実証実験の結果報告は出ているが、さらに広く調査するのか。

答 臭気拡散防止資材の導入により、数字的に下がっているという報告はあるが、飼料添加剤の導入については数字的な根拠がないため、市で臭気測定器を購入し、数値を確認する取り組みを考えている。



空き家対策

今年度は、旭市空家等対策計画に基づき、空き家の活用・除却に係る補助事業や、新規事業の空き家・空地バンクの実施、空き家の管理に関する項目をまとめたパンフレットの配布などを実施。

問 倒壊のおそれなどがある特定空家にならないようにする対策は考えているか。

答 所有者等に連絡をして、当該空き家の現状を伝えるとともに、状況に合わせた情報提供や活用できる助成制度を紹介している。危険性がある場合は、緊急安全措置として応急的な措置を取ることも計画している。